

2023. 11. 16 松本保険薬局事業協同組合薬局経営セミナー  
第13回「薬局未来塾イン松本」開催のお知らせ

清秋の候、ますますご清栄のことと拝察いたします。平素は格別のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、業界においてはマイナ保険証の本格導入、電子処方箋への動き、さらに来年には診療報酬（調剤報酬）・介護報酬・障害福祉サービス等報酬が同時に改定される「トリプル改定」が控えており、薬局経営を取り巻く経営環境は大きな動きを見せております。本セミナーにより、皆様が抱える経営課題等の解決に結びつけて頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

松本保険薬局事業協同組合 理事長 田多井 健介

日 時 2023年 11月 16日 (木曜日)  
場 所 深志神社 梅風閣 2階 白梅  
19時30分 ~ 21時00分  
テーマ 「まずは2025年に向けた薬剤師・薬局の備え」  
～デジタル時代に負けない地域戦略～

講 師 株式会社 K a e マネジメント  
駒形 和哉 氏



参加費 組合員薬局 無料

●駒形和哉氏 (株式会社K a e マネジメント 取締役会長SAN 中小企業診断士・薬剤師)

団塊世代が75歳を迎える2025年は、地域包括ケアシステムの仕上げの年になります。それに向けて、2015年に国は薬剤師・薬局の役割を「患者のための薬局ビジョン」で具体的に示してきました。その成果が試されるのが来年の調剤報酬改定になります。キーワードに示された「かかりつけ薬剤師・薬局」に求められる3つの機能は「地域支援体制加算」の実績要件として盛り込まれています。

薬局経営を取り巻く経営環境は医療費抑制のもとに厳しさを増しています。毎年行われる薬価改定はボディブローのように収益の悪化を招いています。さらにドラッグストアの調剤事業への進出も脅威となっています。

今年4月からはマイナ保険証の本格導入が始まりました。次に控えるのは電子処方箋です。さらに待ち受けるのは薬局から患者に薬が届く仕組みが変わります。

これらの変化は2024年からの国の新しい政策計画に盛り込まれています。まずは、変化の兆しを理解し、受け止めて、何をいかに対応するかの戦略が必要になります。

タイトルは“2025年に向けて”とありますが、すでに国の政策は2040年に向けた方向に動いています。今回のセミナーが、これからの薬局経営のヒントになりますことを願っております。

※日本薬剤師会研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象（申請中）となっております。

（共催）松本保険薬局事業協同組合・鍋林株式会社

出欠および人数を下記にご記入の上、**10月31日（火）までに**、FAX にてご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。（FAX 0263-39-2552）

2023. 11. 16 松本保険薬局事業協同組合薬局経営セミナー  
第13回 「薬局未来塾イン松本」

出 席（参加人数： 人） ・ 欠 席

薬 局 名 薬 局